

# 大阪府立天王寺高等学校

## 令和5年度 第3回 学校運営協議会 記録

日時：令和6年1月20日（土）10：00～11：30

会場：大阪府立天王寺高等学校 会議室

出席者：【委員】山東 功（会長）、浮邊 亜紀子（副会長）、貴志 泰正、葉山 正也、山下 由美子

【事務局】西田 恵二（校長）、内堀 晴則（教頭）、石田 智恵（事務長）、

井上 孝介（首席・SSH 主担）、川邊 茂樹（首席）、

武井 節子（指導教諭・GLHS 担当）

橋本 篤（書記）

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶

新型コロナウイルス明けの共通テストが無事終了した。共通テストに関して、高等学校の先生方のご意見も聞いてみたい。

### 3. 校長挨拶

新型コロナウイルス、インフルエンザがこの時期流行しており、感染症対策に今後も力を入れていく。学校の教育活動については、後期中間考査、第3回天高説明会、がん教育、大工大見学、第2回 SSH 発表会、京大キャンパスガイド、Science English、能楽鑑賞会を実施した。先週、共通テストが終わり3年生は最後の時期に入った。

### 4. 議題・協議

#### (1)令和5年度学校経営計画及び学校評価について

本年度の取組内容及び自己評価をもとに学校経営の現状を確認。現在把握している具体的な数値と前年度との数値を比較し、課題の発見に努めている。公開授業や授業力向上を考える会など、GLHS 及び天王寺高校の教員であることの自覚と、大阪の教育を牽引する意識の醸成を図る取り組みを今後も積極的に行っていく。海外研修、国内研修が以前のように行えており、グローバルリーダーの育成の機会が充実している。新規採用教員ならびに着任後の年数が少ない教員に対して実施している桃陰塾や働き方改革にも積極的に取り組んでいる。

#### (2)令和6年度学校経営計画（案）について

今回の学校協議会にて令和6年度学校経営計画（案）が承認された。めざす学校像の変更はない。スクールミッションなど含め、定期的に変えるものではない。中期的目標について、昨年度と一部変更あり。観点別評価のルーブリックを開発し、評価の図式化を行う。3月末に最終確定。

### (3)資料確認

#### ・学校教育自己診断について

新型コロナウイルス明けのフルの教育活動について、保護者の方からも肯定的な評価を得られている。今年の1年生は初の勉強、部活の両立を経験しており、交友関係にも支援が必要だと考えている。

#### ・第2回授業評価アンケートについて

全体的に肯定的な評価を得られている。昨年度の数値と特に変わりなし。

#### ・授業力向上に向けての取り組みについて

研究授業、公開授業を積極的に行い、教員の資質向上に取り組んでいる。11月10日に行った研究授業では、17校から22名の教員が来校された。授業見学回数について、現在495回、教員一人当たり平均7.7回で令和5年度学校経営計画の中期的目標である教員一人当たり平均5回以上を上回っている。

#### ・GLHSの取組について

今年度より、コロナ禍で中止していた海外研修が復活。事後研修に他校の先生方も積極的に参加されている。英語力向上のため、1,2年 TOEFL Junior を実施した。

#### ・SSHの取組について

SSHの取組がV期目に入る。SSHの活動内容に関して、府下に限らず全国に展開していく。

#### ・部活動等近畿大会以上の成績を残した生徒一覧について

後期分を年度末までに追加予定。

### (4)質疑応答及び意見交換

#### ・教職員の評価について

委員：学校評価アンケートの教員評価が昨年度と比べて低下していることについてどう思われるか。

事務局：コロナ明けで再開した行事が多数あり、まだ教職員にも浸透できていないと思われる。

3年間担任をもつことで、それぞれの行事がどの場面につながっているのかが分かるものだと思う。各行事が生徒にとって何を意味するのか教職員間での更なる共有を図りたい。

委員：卒業の最後の最後まで行事が多いことは生徒にとって良いことであると思う。

教職員にも浸透していただきたい。

#### ・いじめ対応の評価について

委員：いじめ対応の質問項目の数値が下がったことについては。

事務局：多くの教員が関わった事案が発生した上の評価になったのではないかと考えている。

慎重な対応をしたことが影響しているのではないかと考えている。

・勉強と部活の両立について

委員：勉強と部活の両立の現状はどのようなものか。

事務局：勉強も部活も活動内容に関して、コロナ前のように戻った。ただ、多くのことに取り組みたい、取り組む生徒が増えているため、一部生徒は両立に苦勞している。

・海外・国内研修について

委員：海外派遣や研修について金銭的に行けない生徒はいないのか。

事務局：OB や同窓会から多くの支援を頂き、比較的安く研修を行えていると思う。

しかし、年々ツアーの高騰もあり、生徒の負担は増えている状況である。

委員：PTA や多くの方が生徒たちに支援をしていただければ更に充実したものになるのでは。

5. 閉会